

# “世界一長～い！”～地球村冬物語～ 170人のバナナボート完成!!

記録更新!!



完成を喜ぶ参加者



作るのも楽しいね



出来たてを味わいました

毎年恒例の「地球村冬物語」が2月12日、つがる地球村国際交流広場で開催されました。

目玉イベントの「世界一長～い！バナナボート」作りでは、市内外から訪れた約850人の家族連れが170人の長さにも挑戦しました。参加者はスポンジ生地クリームを絞ってバナナをきれいに並べた後、スタッフの合図で一斉に生地を巻いて見事成功。バナナ1063本、生クリーム200kg、つがる市産の米粉で焼き上げたスポンジ生地567枚で、総重量529kgのバナナボートをみんなで持ち上げ、完成を喜びました。

会場では、チーム対抗の雪だるま作り大会や雪上綱引き大会など、冬ならではの多彩なイベントが行われたほか、よさこい知求群会による演舞や豪華賞品が当たる大抽選会なども行われ、来場者は寒い冬を楽しんでいました。



家族力を合わせて雪上綱引き大会



雪だるま作り優勝作品。兄弟で記念撮影



そりで遊ぶ子どもたち



家族連れでにぎわった会場



雪上に映えるよさこい知求群会

# 趣向を凝らした力作ずらり 第33回つがる市くらしの工夫展



アイデア作品を見入る来場者

市生活改善グループ連絡協議会（中村嘉子会長）主催の「くらしの工夫展」が2月3日、松の館で開催され、多くの市民らでにぎわいました。

会場には、地元の食材を使った斬新な料理やくらしに役立つアイデア作品など、創意工夫を凝らした202点が展示され、生活に取り入れようと作り方をメモする来場者も見受けられました。開会式では、味、外観、使いやすさなどに優れたコンテスト入賞作品の出展者を表彰。中村会長は「つがる市の伝統の味や新しいアイデア・技術などが次世代に受け継がれていくきっかけの場となることを願っています」とあいさつしました。会場では、つがるちゃんの絵巻き寿司など昨年のコンテストで入賞した作品の調理実演と試食コーナーが人気を集めていました。



つがるちゃん絵巻き寿司作りを実演



人気を集めた試食コーナー

## くらしの創意工夫コンテスト入賞作品

市長賞



長いアップルパイ  
木村茂子（森田）

知事賞



キャラメルごぼうチップス  
松橋ミエ（富沼）

農業委員会会長賞



犬と猫チグラ  
野呂時江（森田）

JAごしよつがる  
組合長賞



古着ポドの活躍  
成田幸子（木造）

JAつがるにしきた  
組合長賞



バラの花のアップルパイ  
奈良秀子（森田）

津軽広域農業共済  
組合長賞



手づくりおからコンニャクの  
からあげ／神光子（柏）